

平成8年10月23日発行

NO. 179

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724(83)4653

“暑が夏”

会長栗原泰正

夏の暑者がたことが嘘のよう一日一日と涼しくなり、食員の皆さんも走りやすくなり、次の大会に向けて走り込んでいることと思います。とは言えども、やれ祭りだ、選育などではないな、意う様に走れよやんね。私自身もその一人です。会社の仲間と飲みに行ったり、又野暮用等で走らず腹が出てくるのが、気にならるこの境です。今夏、もう4日箱作の国民年金健康新ターザンヒル阪南で夏の合宿?を行いました。このセンターは関空の土砂を運んだ跡地に今倉建てたので新しく、並に高台の為、見晴らしが良く、関空か一望のもとに見渡さかる絶好の場所に建っています。

細井さんの紹介で宿泊がとれ、最初は7名の予定が結局5名になりましたが、四日の肩すきに新家を出發し、二時頃に到着した。それからには本来の目的?走り始めた。そもそも午後二時過ぎ一番暑い時間帯である。スタート地点は高台にあり、下りばかりだから帰りはどうなんやう箱作の駅から海水浴場に行く途中、道を間違えたりで、やと到着

一ソ風呂に入り(又、この風呂の見晴らしのいい事)部屋で大宴会?ビールの販賣もやをやる。日曜日なうだ、少し混んでいたが、水もキレイで気持ちよく泳下した。翌日は車で箱作の海岸まで行き、バーベキューをやった。日曜日なうだ、少し混んでいたが、水もキレイで気持ちよく泳下した。明日の合宿は私自身二回目で何年か前に加太の国民宿舎で行った事がある。この宿舎も紀淡海峡が一望に見渡せる風光明媚な場所にある。このコースもアーヴィングの多ハ海岸線で炎天下フルマラソンの走りながら走ったことがある。走った後の水風呂の気持ち良さは忘れられない思い出一つです。

さて、私の秋の目標は和歌山—高野山往復マラソン完走です。又、十二月の龍神マラソンを楽しみにしております。

これからも食員の皆さんには都合のつくかぎり、例会やいろいろな大会に参加してワイワイがやがや言いながら楽しいランコンペを練ましよう。

二、ホットな情報
一例会日
十月二十七日
種河神社 九時集合
十一月十日
種河神社 九時集合
お知らせ

お光月号でお知らせした、新会員の森勝さんのお話です。十キロのタイムを立派ですが、もつと驚く話題がありました。なんとモントリオールオリンピックに日本代表として出場され、四位に入賞された経歴の持ち主です。種目など、例会に参加して走りながら聞かれたら、樂しく走れると思います。



遂に珠州トライアスロン大会に参加 因田

トライアスロンと本格的に始めて五年目に当るが以前から一度参加しておいたりと思つて過去二回出で、それも選考にあらず参加の機会が得られなかつた珠州大会に今年ようやく参加することが出来、八月二十四日と二十六日にかけ石川県能登半島の珠州市に出かける。今日はいる自分が走り走り走り回つていてあまり家内をつれて出かけることがなく心苦しきものありて家内の妹夫婦と共に行くことを叶つた。二十四日朝六時半は家を出て近道名神北陸道と東海北陸道を走り珠州市へ着くのが一時半すぎ早速愛村バイク左ツク、説明会と清掃をする。いつもながらなぜかこの時だけは不安と感じる。と言うのも周りは若く色黒として筋肉マンで見るからに早くうる人はかり又バイク姿なら高級者うなバイクに乗つていろりでいる。この大会もんと古つて、兼大変奇麗で松林砂浜の音はどこか海でもよく見られる景色であつんからなつかしさがあるかしく感じる。こじごいムとニエキロ、バイクは非常に了手タクシの多いハードなコース、これも代表するが標高三〇キルメートル越えで約五キロ続くところがなぜかこの岸越えが名物となり、これにナレンジするトライアスリーが多々と聞く。南約五キロを二回の十九キロ、最後は高山峠に登つて東西に細長く延びた市内を西端にある珠州ツィンボルでもある軍艦島(見付島)まで走り及ぶ。坂がよつよつくつツトなコース二十三キロ走りゴールは野球場ここは芝生が美くゴルフした選手の疲れを充分に癒してくれる。これがAタイプで一百の名乗り半分の距離で行なわれうなタイブに立の名が参加する。日本で行なわれる大会としてはビックリ大会である。

さて、レースは七時と七時十分に分け五の名づけられたスタートしてすぐ引き返し入る何人かいに又潮の流れもあり思ったより時間がかかり海水をすがん飲んでしまう。それでも予んとかバムを終えてバイクとスタートやはり足が重く、スピードが上からない。後から少しつづると音が一いつあこと言う間に追い越していく。バイクに頼ることを痛感、又、ちょっとした疲

になるとさらにダラン、それなのにバイクに強い人は軽々と登つて行く。梅一が仕方がない。後からランでなんとか走り返せば良いと軽く考えペダルを踏む。そのうち少しは慣れてきたのか軽く感じたし、なんとか大谷峠にさしかかる。一か二回は、ギーリー少しあを見るとバイクが混んでいる。『はりこの坂は並の坂ではない証か、それでもトップクリフにはれば軽々と登つて行く。日頃どんな練習と、いろいろかきどと考へてから必死にペダルを踏む。しかし一周目にはバイクを降りて登らなければならず。左ツク、説明会と清掃をする。いつもながらなぜかこの時だけは不安と感じる。と言うのも周りは若く色黒として筋肉マンで見るからに早くうる人はかり又バイク姿なら高級者うなバイクに乗つていろりでいる。この大会もんと古つて、兼大変奇麗で松林砂浜の音はどこか海でもよく見られる景色であつんからなつかしさがあるかしく感じる。こじごいムとニエキロ、バイクは非常に了手タクシの多いハードなコース、これも代表するが標高三〇キルメートル越えで約五キロ続くところがなぜかこの岸越えが名物となり、これにナレンジするトライアスリーが多々と聞く。南約五キロを二回の十九キロ、最後は高山峠に登つて東西に細長く延びた市内を西端にある珠州ツィンボルでもある軍艦島(見付島)まで走り及ぶ。坂がよつよつくつツトなコース二十三キロ走りゴールは野球場ここは芝生が美くゴルフした選手の疲れを充分に癒してくれる。これがAタイプで一百の名乗り半分の距離で行なわれうなタイブに立の名が参加する。日本で行なわれる大会としてはビックリ大会である。

さて、レースは七時と七時十分に分け五の名づけられたスタートしてすぐ引き返し入る何人かいに又潮の流れもあり思ったより時間がかかり海水をすがん飲んでしまう。それでも予んとかバムを終えてバイクとスタートやはり足が重く、スピードが上からない。後から少しつづると音が一いつあこと言う間に追い越していく。バイクに頼ることを痛感、又、ちょっとした疲

�行く。梅一が仕方がない。後からランでなんとか走り返せば良いと軽く考えペダルを踏む。そのうち少しは慣れてきたのか軽く感じたし、なんとか大谷峠にさしかかる。一か二回は、ギーリー少し見るとバイクが混んでいる。『はりこの坂は並の坂ではない証か、それでもトップクリフにはれば軽々と登つて行く。日頃どんな練習と、いろいろかきどと考へてから必死にペダルを踏む。しかし一周目にはバイクを降りて登らなければならず。左ツク、説明会と清掃をする。いつもながらなぜかこの時だけは不安と感じる。と言うのも周りは若く色黒として筋肉マンで見るからに早くうる人はかり又バイク姿なら高級者うなバイクに乗つていろりでいる。この大会もんと古つて、兼大変奇麗で松林砂浜の音はどこか海でもよく見られる景色であつんからなつかしさがあるかしく感じる。こじごいムとニエキロ、バイクは非常に了手タクシの多いハードなコース、これも代表するが標高三〇キルメートル越えで約五キロ続くところがなぜかこの岸越えが名物となり、これにナレンジするトライアスリーが多々と聞く。南約五キロを二回の十九キロ、最後は高山峠に登つて東西に細長く延びた市内を西端にある珠州ツィンボルでもある軍艦島(見付島)まで走り及ぶ。坂がよつよつくつツトなコース二十三キロ走りゴールは野球場ここは芝生が美くゴルフした選手の疲れを充分に癒してくれる。これがAタイプで一百の名乗り半分の距離で行なわれうなタイブに立の名が参加する。日本で行なわれる大会としてはビックリ大会である。

さて、レースは七時と七時十分に分け五の名づけられたスタートしてすぐ引き返し入る何人かいに又潮の流れもあり思ったより時間がかかり海水をすがん飲んでしまう。それでも予んとかバムを終えてバイクとスタートやはり足が重く、スピードが上からない。後から少しつづると音が一いつあこと言う間に追い越していく。バイクに頼ることを痛感、又、ちょっとした疲

になるとすぐに納得して何メートルか歩く、何人がか抜けていく。ちくちく、くわくわ。頑張れ、自分と振り向こう、走り出す。じとスピードは早い。それでも歩くよりは速い。この辺は途中で走れるのに足が動かないので、ただ残りの距離表示だけが気にならばかり。もつもつ今まで頑張ったから後は歩く。七時間は切れる。もう歩きと自分に納得して何メートルか歩く、何人がか抜けていく。ちくちく、くわくわ。頑張れ、自分と振り向こう、走り出す。じとスピードは早い。それでも歩くよりは速い。この辺は途中で走れるのに足が動かないので、ただ残りの距離表示だけが気にならばかり。もつもつ今まで頑張ったから後は歩く。七時間は切れる。もう歩き

最後に家内は言つた「なんだこんなしこんじつするのやろ」これをしてみんと今からんわで終つた珠州大会でめに。次は、びわ湖に挑戦であるが、この大会での苦しさを考ふると、今まで以上の練習が必要であることをつくづく感心し心を折たはした。

以上

